



2025年1月9日

各 位

会 社 名 株式会社フォーシーズHD
代表者名 代表取締役社長 寺田 智美
(コード番号 3726 スタンダード市場)
問 合 せ 先 代表取締役副社長 松野 博彦
(TEL. 092-720-5460)

当社連結子会社による事業譲受に関するお知らせ

当社は、2025年1月9日の取締役会にて、2024年12月2日に設立いたしました連結子会社のファンタスティックフォー第1号合同会社（以下、「ファンタスティックフォー第1号」といいます。）にて、株式会社ネクスタ（以下、「ネクスタ」といいます。）が保有する太陽光発電所の土地権利を譲受することを決議しましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業譲受の理由

当社は、グループ経営方針として新たな事業の柱を増やしていくことを方針の一つとしており、2024年5月10日に新たな事業として再生可能エネルギー事業への参入を公表し2050年のカーボンニュートラル実現に向けて事業へ参入し、翌月6月より太陽光発電事業のコンサルティング事業において、当社では短期当サイクルで売却するスキームの物件を運営管理しております。

現在、当社が運営管理している短期スキームの物件と管理を分けるため、12月2日に子会社のファンタスティックフォー第1号を設立いたしました。12月25日に公表しておりますとおりネクスタより長期サイクルの物件をご提案いただき当日付で事業を譲受しておりますが、新たに追加の長期サイクルの物件をご提案いただき、本物件について当社取締役会で事業譲受することを決議いたしました。

2. 事業譲受の概要

(1) 本事業の内容

今回譲受する事業につきましては、現在ネクスタが保有している関東・東北地方の太陽光発電所3物件の太陽光発電所を建設するための土地の権利となります。本事業については、本日2025年1月9日付でネクスタと事業譲渡契約書を締結予定としております。なお、ファンタスティックフォー第1号は事業を譲受後に太陽光発電所製造業者に対し、同土地上に太陽光発電所の製造を委託し、売電事業者に対して、土地及び太陽光発電所設備を譲渡いたします。コンサルティング業務として、発電所の建設に関する許認可・法務等の確認、商品（製品としての発電所設備等）の仕様・設計の助言、工事の進行管理、商品（製品としての発電所設備等）の完成確認等を実施いたします。本事業における物件は、当社が現在行っている短期サイクルで売却するスキームの物件とは管理を分けることとしております。本事業における工事完工時期は、各物件において異なりますが、将来売却することを前提としての譲受となります。

2024年12月25日に契約した94物件と併せて、97物件をファンタスティックフォー第1号で管理してまいります。

- (2) 本事業の直前事業年度における売上高及び経常利益
太陽光発電所の土地権利の譲受のため、現時点における売上利益の計上はございません。
- (3) 本事業の資産、負債の項目及び金額
太陽光発電所の土地権利の譲受で将来的に売却することを前提としておりますが、譲受をしたタイミングでは一時的に負債が発生いたします。
- (4) 本事業価額及び決済方法
相手先の意向により非公表とさせていただきます。

3. 事業譲受の相手先の概要

(1) 名称	株式会社ネクスタ	
(2) 所在地	東京都小平市小川町2丁目1157番地の8	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 兼子 修一	
(4) 事業内容	株式及び有価証券の投資、保有、運用及び売買	
(5) 資本金	9,900千円	
(6) 設立年月日	令和2年9月17日	
(7) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	当該会社はネクスタ匿名組合の営業者であり、当社の株式440,000株（2024年9月30日現在。2024年9月30日現在の当社の普通株式に係る総議決権数の4.37%）を保有しております。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 事業譲受会社の概要

(1) 名称	ファンタスティックフォー第1号合同会社
(2) 所在地	福岡市中央区薬院一丁目1番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表社員 株式会社フォーシーズHD 職務執行者 寺田智美
(4) 事業内容	再生可能エネルギー事業及び発電設備の開発、取得、保有及び処分 再生可能エネルギー事業を行う法人または個人への貸付け及び出資 当該事業に関するその他各種権利の取得、保有及び処分等
(5) 資本金	10万円
(6) 設立年月日	2024年12月2日

5. 事業譲受の日程（予定）

(1) 契約予定日	2025年1月9日
(2) 事業開始日	2025年5月1日

6. 会計処理の概要

本件による会計処理は、企業結合に関する会計基準における取得に該当し、のれんの発生が見込まれますが、その金額につきましては現在精査中であります。

7. 業績に与える影響

本件による当社連結業績に与える影響は現在精査中ですが、また、今期以降の業績予想については、計上タイミングを踏まえて今後の業績予想に織り込んでまいります。

以 上